

見直しましょう！多剤・重複服薬について



複数の病気をもつと、それだけ病院にかかる機会も増え、処方される薬も増えていきます。しかし、処方薬は効き目が強いので、**服用する薬が増えれば増えるほど体への負担は大きくなり**、体の不調や副作用のリスクを招くこともあります。薬を減らすことで体への負担も医療費の負担も減らすことができますので、服薬が過度になっていないか見直してみましょう！

年齢を重ねると病気が増え、服薬が増えたという方もいらっしゃるかと思います。そうしてさまざまな薬を服用するようになると副作用や体調不良を起こし、日常生活に支障をきたすこともあるとされています。高齢者においては**服用している薬が6種類以上になると副作用のリスクが高まる**といわれており、心当たりのある方は注意が必要です。

また、複数の医療機関にかかることで同じ効能の薬を処方されることもあり、医療費の無駄遣いにもつながります。医療費は組合員が支払っている保険料で支えられているため、医療費が増大することで将来的に財源が確保できなくなるおそれもあります。つまり多剤・重複服薬を見直すということは、**身体的な負担や医療費の軽減にもつながる大切なポイント**なのです。

これらがあてはまる人は要注意！

多剤・重複服薬になっているかも…？



複数の医療機関から
処方を受けている…

お薬手帳が手元に
何冊もある…



処方通り服用している
のに具合が悪い…



処方の薬が多すぎて
困っている…



かかりつけの医師や
薬剤師がいない…

多剤・重複服薬を見直すには

① 同じ病気で重複診療するときは慎重に

同じ病気で医療機関をいくつも受診すると、医療費も薬代も余計にかかるおそれがあります。一つの病院で不安に感じることがある場合、まずは医師や薬剤師に相談するようにしましょう。

② 処方されている薬のことをきちんと知る

処方された薬がなぜ必要なのか、どんな効果があるのか知っておくことはとても大切なことです。薬と一緒に渡される「薬剤情報提供文書」等でしっかり内容を把握するようにしましょう。

③ お薬手帳は一冊にまとめるようにする

手帳が何冊もあることにより、薬の情報が精査できず混乱を招くおそれがあります。医師や薬剤師に正しい情報を伝えるためにも、一冊にまとめて管理しましょう。



【まとめ】

多剤・重複服薬を見直すためには、処方されている薬のことを理解しておくことと、きちんと相談できる医師や薬剤師の存在が不可欠です。処方されている薬を精査せずやめてしまうのは体に負担をかけることになりかねませんので、しっかり病院や薬局で相談するようにしましょう。

かかりつけの医師&薬剤師は力強い味方です！

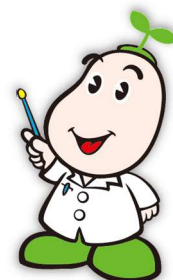


健康管理や保健指導も
ご相談ください！

薬に関することは
なんでもおまかせを！



普段の健康状態や既往歴を把握してくれている医師、副作用やアレルギーの有無などを把握してくれている薬剤師がいることは大きな安心につながります。まだかかりつけの医療機関がないという方は、話がしやすく、親身に相談にのってもらえる病院や薬局が家の近くにないか探してみましょう。



作成：関東信越税理士国民健康保険組合
さいたま市大宮区桜木町 4-376-1
TEL:048-631-2211 FAX:048-644-3030



こちらのQRコードをスマートフォンで読み込むと組合HPへアクセスできます。